

江府町まち・ひと・しごと創生
総合戦略

—奥大山の恵みを活かし ひとが集うまち—

平成27年9月

鳥取県江府町

【目 次】

第1章 人口ビジョン

◆人口動向分析及び将来人口推計

1. 人口動向	1
(1) 平成7年から平成26年までの総人口・世帯数の推移	1
(2) 集落別人口の推移	2
(3) 出生者数及び死亡者数	3
(4) 転入者数及び転出者数	4
(5) 合計特殊出生率	4
(6) 平成23～26年度の転入内訳(県外)	5
(7) 平成23～26年度の転出内訳(県外)	5
(8) 平成23～26年度の転入内訳(県内)	6
(9) 平成23～26年度の転出内訳(県内)	6
(10) 平成23～26年度の転入内訳(年齢5歳階級別)	7
(11) 平成23～26年度の転出内訳(年齢5歳階級別)	8
(12) 未婚者の状況詳細	9
2. 将来人口推計	10
(1) 総人口の見通し	10
(2) 年齢5歳階級別人口の見通し	11
(3) 2010年・2040年人口ピラミッド	12
(4) 年齢階層別人口の見通し	13
3. 将来人口目標	14
(1) 将来人口目標が達成された場合の年齢5歳階級別人口の見通し	15
(2) 将来人口目標が達成された場合の年齢階層別人口の見通し	15
(3) 将来人口目標のまとめ	16

第2章 総合戦略

◆江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針 ……17

◆基本目標と基本的方向

基本目標 I 住んでみたいまち、帰りたくなるまちづくり

1 住まいの整備	(1) 空き家対策の推進 ……	20
	(2) 住宅整備 ……	20
	(3) 移住・住宅に関する総合相談窓口の開設…	20
2 にぎわいの創出	(1) ひとが集う仕掛けづくり ……	21
3 効果的な情報発信	(1) 人的ネットワークによる情報発信 ……	21
	(2) まちに関する情報の一元化 ……	21
	(3) 光ネットワークの活用促進 ……	21
	(4) 情報受信環境の整備 ……	21

基本目標 II すこやかでいきいき暮らせるまちづくり

1 出会い・結婚を支援	(1) 若者の出会い・交流支援 ……	22
	(2) 結婚転入支援 ……	22
2 切れ目のない子育て支援	(1) 子育て世代への経済的支援 ……	23
	(2) 子育てサポート体制の充実 ……	23
3 次世代を担う人材育成	(1) 地域と連携した学校教育の実現 ……	24
	(2) ひとりひとりの確かな学力向上 ……	24
	(3) 個性豊かな人間力の向上…	24
4 安心の保健医療体制	(1) きめ細やかに健康管理を支援 ……	25
	(2) 医療体制の充実 ……	25
5 高齢者の暮らしを支える	(1) 高齢者の社会参加と生活支援 ……	25

基本目標 III 産業振興により活力と雇用を生みだすまちづくり

1 新たな産業の創生	(1) ふるさと産品づくり ……	26
	(2) 起業支援 ……	26
2 農業の振興	(1) 担い手となる農業者等の育成 ……	27
	(2) 儲かる米づくりの推進 ……	27
	(3) 高収益作物の振興 ……	27
3 観光の振興	(1) まち巡りの推進 ……	28
4 就労支援の推進	(1) 地域人材育成…	28
	(2) 雇用の促進…	28

第1章 江府町人口ビジョン

◆人口動向分析及び将来人口推計

はじめに

人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を勘案し、本町における人口の分析を行い、人口問題に関する町民との認識の共有を目指すとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものである。

なお、本ビジョンは、本町のこれまでの人口推移や人口動態推移等を基に、今後の本町の在り方を示すとともに、江府町版総合戦略の基盤となるものとする。

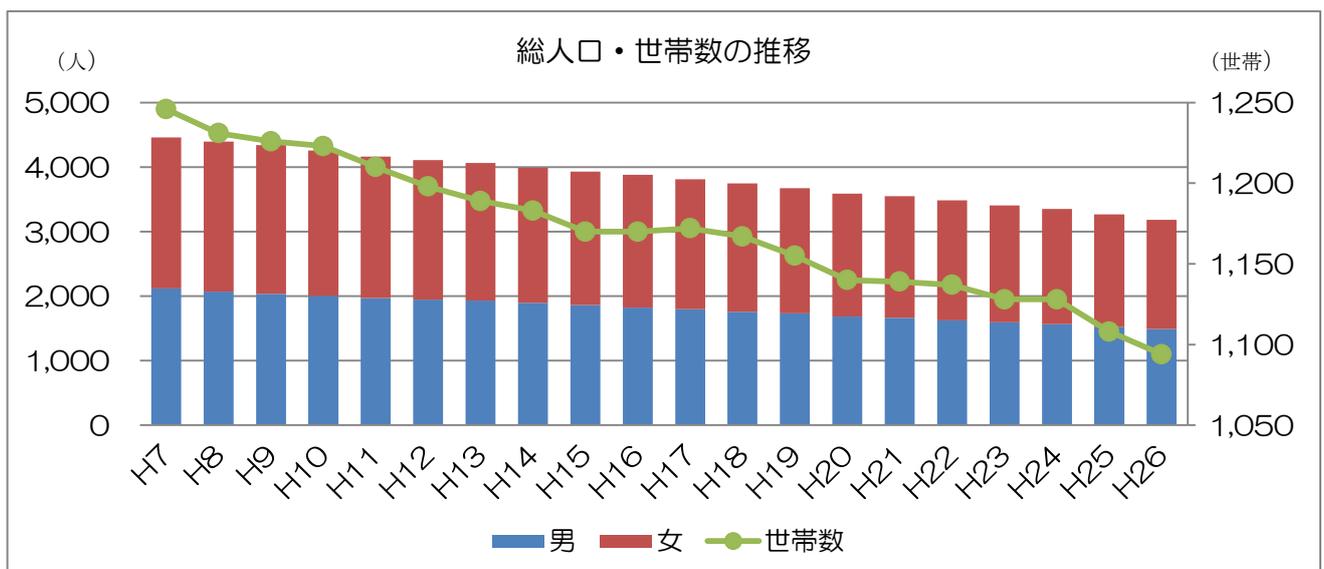
1. 人口動向

(1) 平成7年から平成26年までの総人口・世帯数の推移

(人口動態調査による)

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
人口	4,459	4,394	4,343	4,255	4,161	4,111	4,064	3,990	3,931	3,880
男	2,121	2,072	2,037	2,004	1,969	1,945	1,931	1,897	1,862	1,825
女	2,338	2,322	2,306	2,251	2,192	2,166	2,133	2,093	2,069	2,055
世帯数	1,246	1,231	1,226	1,223	1,210	1,198	1,189	1,183	1,170	1,170

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人口	3,811	3,748	3,673	3,591	3,551	3,485	3,404	3,353	3,265	3,185
男	1,796	1,760	1,733	1,684	1,662	1,626	1,594	1,563	1,523	1,492
女	2,015	1,988	1,940	1,907	1,889	1,859	1,810	1,790	1,742	1,693
世帯数	1,172	1,167	1,155	1,140	1,139	1,137	1,128	1,128	1,108	1,094



平成7年から平成26年の20年間で江府町の人口は、男性629人、女性645人、合計1,274人減少している。これらの人口減に伴い世帯数も152世帯の減となっている。

(2) 集落別人口の推移

(江府町集落別人口世帯数データによる)

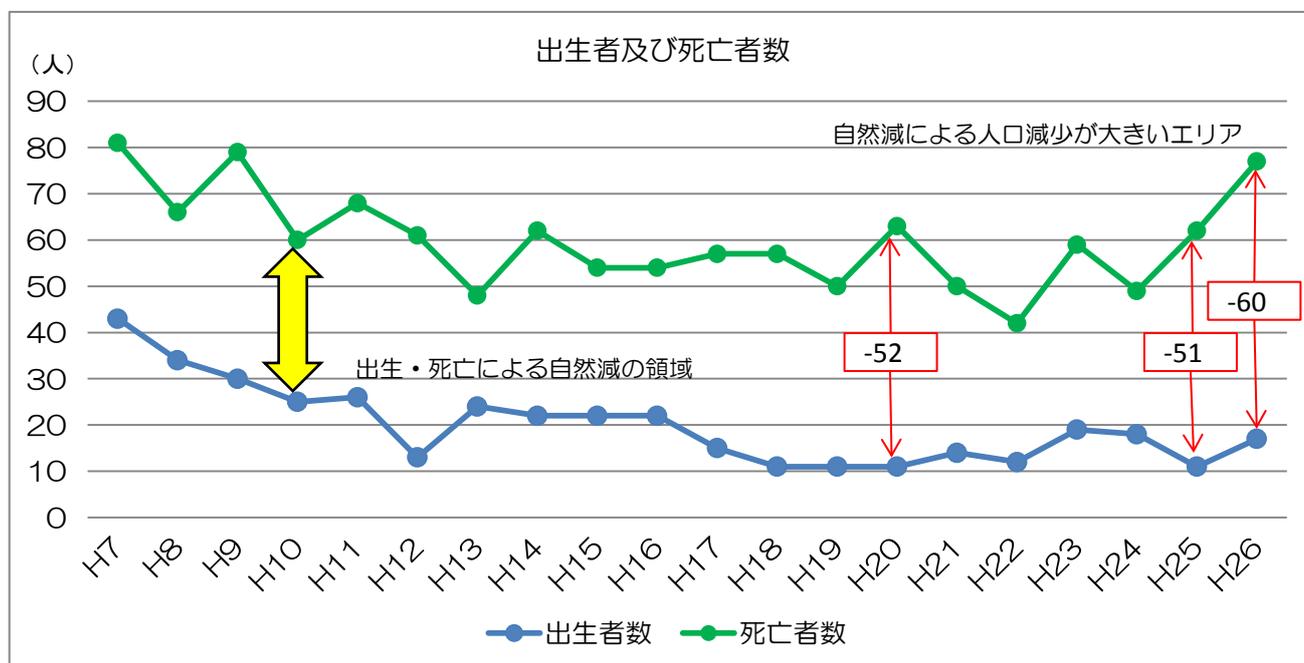
集落名	H6	H11	H16	H21	H26
本町一	256	222	199	171	162
本町二	92	81	79	67	58
本町三	79	68	69	57	44
本町四	73	62	55	50	44
本町五	199	177	154	145	132
新町一	210	193	184	170	151
新町二	93	77	80	70	51
大満	26	25	17	20	19
小江尾	193	187	164	144	129
久連	160	143	155	144	73
美女石	平成23年度より久連から美女石へ分離				54
白住	50	52	38	32	36
佐川	288	297	281	274	243
柿原	148	135	128	109	84
小計	1,867	1,719	1,603	1,453	1,280
宮市	95	91	83	86	74
宮市原	74	52	50	41	32
助澤	80	81	80	78	71
下蚊屋	157	142	139	121	101
笠良原	14	13	16	10	5
鏡ヶ成	22	14	5	4	4
御机	181	159	144	132	126
栗尾	40	34	27	24	21
美用	125	129	116	101	87
小原	73	75	69	60	54
杉谷	99	91	79	74	70
貝田	205	191	184	185	169
小計	1,165	1,072	992	916	814
下安井	119	107	114	99	93
洲河崎	169	143	136	120	120
荒田	96	80	72	65	59
半の上	37	40	30	30	29
宮の前	22	21	21	17	17
武庫	113	113	101	106	114
武庫第2			23	24	13
高谷	10	10	6	12	10
新道	123	114	108	98	84
一旦	50	52	53	52	45
池の内	210	193	181	157	142
尾之上原	102	89	87	83	74
日の詰	113	108	100	90	81
深山口	19	13	7	6	7
小計	1,183	1,083	1,039	959	888
吉原	82	78	62	59	52
西成	43	47	40	33	26
袋原	63	52	50	48	43
大河原	122	109	94	82	74
小計	310	286	246	222	195

(3) 出生者数及び死亡者数

(人口動態調査による)

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
出生者数	43	34	30	25	26	13	24	22	22	22
死亡者数	81	66	79	60	68	61	48	62	54	54
自然減	-38	-32	-49	-35	-42	-48	-24	-40	-32	-32

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
出生者数	15	11	11	11	14	12	19	18	11	17
死亡者数	57	57	50	63	50	42	59	49	62	77
自然減	-42	-46	-39	-52	-36	-30	-40	-31	-51	-60



全ての年度で死亡者数が出生者数を大きく上回っており、自然増減では、人口減少の年が続いている。さらに平成 20、25、26 年では 50 人以上を超える自然減となっている。

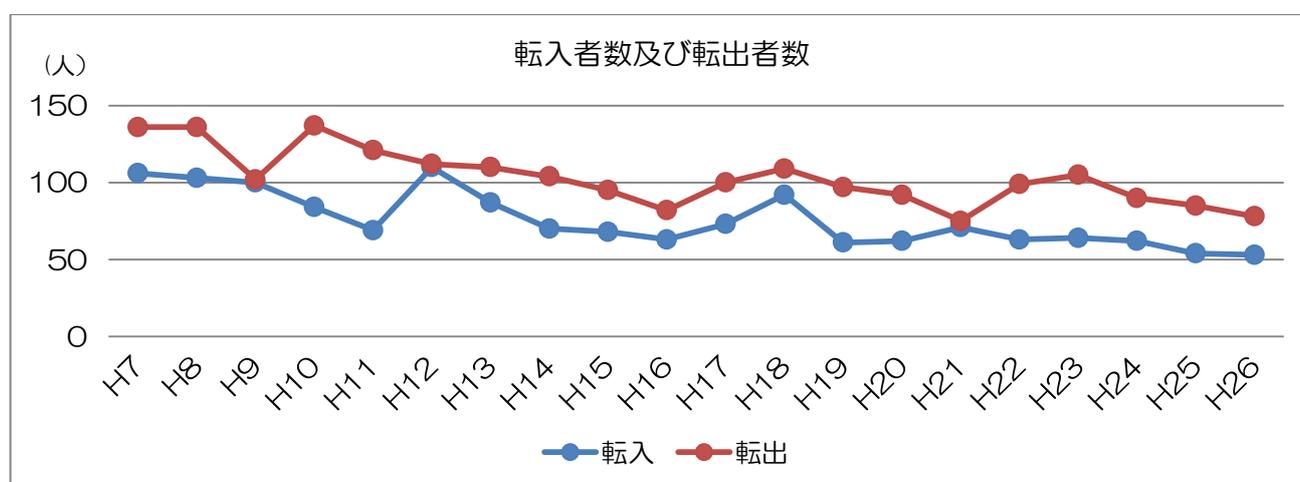
出生者数は、平成 17 年以降から 10 人台となっており、出生者数の減少は、母親世代人口の減少や、晩婚化による出生率低下などが主な要因と考えられる。

(4) 転入者数及び転出者数

(人口動態調査による)

	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
転入	106	103	100	84	69	110	87	70	68	63
転出	136	136	102	137	121	112	110	104	95	82
社会減	-30	-33	-2	-53	-52	-2	-23	-34	-27	-19

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
転入	73	92	61	62	71	63	64	62	54	53
転出	100	109	97	92	75	99	105	90	85	78
社会減	-27	-17	-36	-30	-4	-36	-41	-28	-31	-25



全ての年度で転出者数が転入者数を大きく上回っており、社会増減では、人口減少が続いている。さらに平成 10、11 年では 50 人以上を超える社会減となる年も発生している。

平成 22 年から 26 年までの直近 5 年間では 161 人の減で、年間平均では 32 人超となっている。

(5) 合計特殊出生率

合計特殊出生率とは、人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す。

(人口動態調査による)

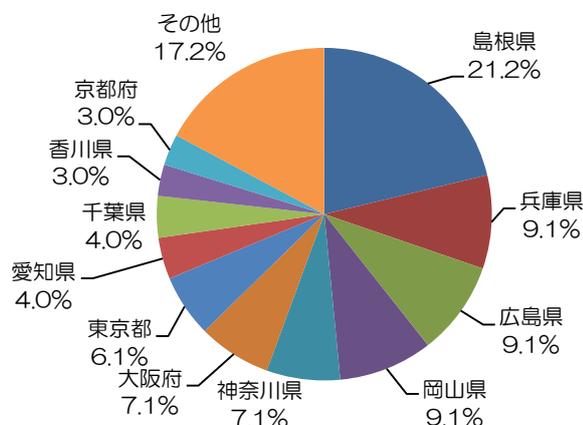
	H21	H22	H23	H24	H25	H21～25 平均 (最大・最小値除く)
江府町	1.53	1.01	1.27	2.23	1.35	1.38
鳥取県全体	1.46	1.54	1.58	1.57	1.62	1.56

単年では、2.23 と高い年もあるが直近の 5 年間平均では、県平均に比べ 0.18 ポイント低くなっている。

(6) 平成 23~26 年度の転入内訳 (県外)

(人口動態調査による)

H23~H26年度
転入 (県外) 内訳 異動数 (割合)



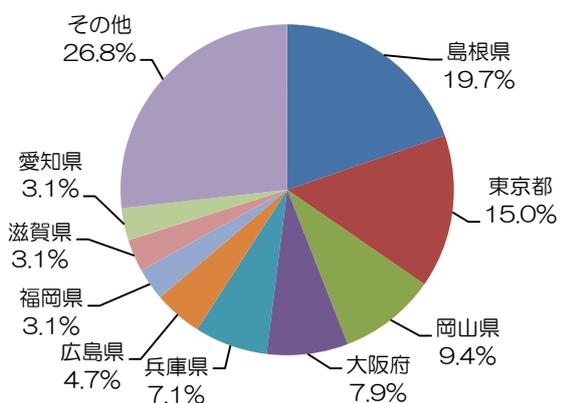
転入 (県外) 内訳	
異動元	異動数 (人)
島根県	21
兵庫	9
広島	9
岡山	9
神奈川	7
大阪府	7
東京都	6
愛知	4
千葉	4
香川	3
京都府	3
その他	17
合計	99

過去 4 年間で、転入先として一番多いのは島根県からの 21 人で、以下、兵庫・広島・岡山県 9 人、神奈川県・大阪府 7 人の順となっている。

(7) 平成 23~26 年度の転出内訳 (県外)

(人口動態調査による)

H23~H26年度
転出 (県外) 内訳 異動数 (割合)



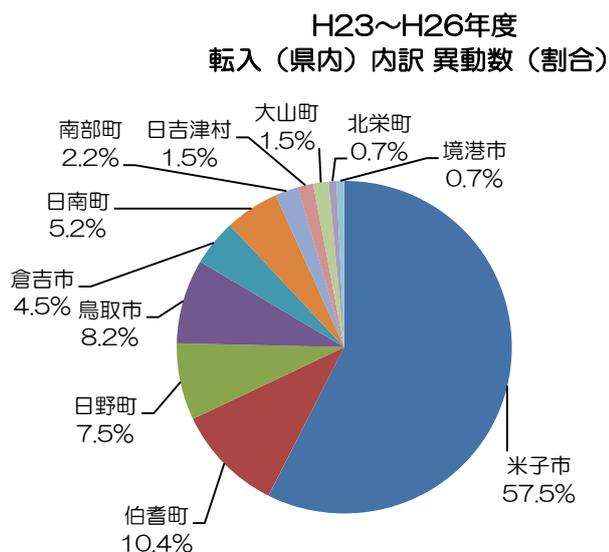
転出 (県外) 内訳	
異動先	異動数 (人)
島根県	25
東京	19
岡山	12
大阪府	10
兵庫	9
広島	6
福岡	4
滋賀	4
愛知	4
その他	34
合計	127

過去 4 年間で、転出先として一番多いのは島根県への 25 人で、以下、東京都 19 人、岡山県 12 人、大阪府 10 人、兵庫県 9 人の順とな

転入、転出ともに島根県が多い傾向となっている。

(8) 平成 23~26 年度の転入内訳 (県内)

(人口動態調査による)

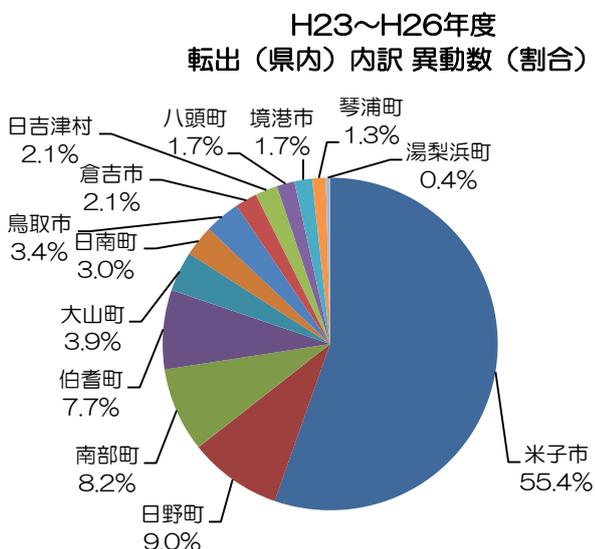


転入 (県内) 内訳	
異動元	異動数 (人)
米子市	77
伯耆町	14
日野町	10
鳥取市	11
倉吉市	6
日南町	7
南部町	3
日吉津村	2
大山町	2
北栄町	1
境港市	1
合計	134

過去 4 年間で、転入が多いのは、米子市からの 77 人で、以下、伯耆町 14 人、日野町 10 人、鳥取市 11 人の順となっている。

(9) 平成 23~26 年度の転出内訳 (県内)

(人口動態調査による)



転出 (県内) 内訳	
異動先	異動数 (人)
米子市	129
日野町	21
南部町	19
伯耆町	18
大山町	9
日南町	7
鳥取市	8
倉吉市	5
日吉津村	5
八頭町	4
境港市	4
琴浦町	3
湯梨浜町	1
合計	233

過去 4 年間で、転出が多いのは、米子市への 129 人で、以下、日野町 21 人、南部町 19 人、伯耆町 18 人の順となっている。

(10) 平成 23～26 年度の転入内訳 (年齢 5 歳階級別)

(人口動態調査による)

H23～26 転入年齢別集計 (男女別)											
	男性					女性					総計
	H23	H24	H25	H26	計	H23	H24	H25	H26	計	
合計	25	28	25	19	97	39	34	29	34	136	233
0～4 歳	2	3	1	1	7	4		1	1	6	13
5～9 歳			3		3	3		1	1	5	8
10～14 歳					0			2		2	2
15～19 歳	5	1	1	1	8	1	1	5	1	8	16
20～24 歳	6	6	5	3	20	4	8	4	10	26	46
25～29 歳	6	4	2	3	15	8	9	3	5	25	40
30～34 歳	2	4	3	3	12	6	2	2	6	16	28
35～39 歳	2	1	1	4	8	2	1	1	3	7	15
40～44 歳		2	1	1	4	2	3	2	1	8	12
45～49 歳			1		1	1	1	1	1	4	5
50～54 歳			1		1	1	1			2	3
55～59 歳	1		1	1	3	1	2	3	1	7	10
60～64 歳		2	3		5	2				2	7
65～69 歳	1	3			4	1				1	5
70～74 歳					0			2		2	2
75～79 歳		2	1		3	1	2		2	5	8
80～84 歳			1	1	2			1		1	3
85～89 歳					0		4		1	5	5
90 歳以上				1	1	2		1	1	4	5

過去 4 年間の転入者の総計 233 人の内、男性が 97 人、女性が 136 人で、年代別では、20 代が 86 人で最も多く、30 代が 43 人、10 歳未満が 21 人、10 代が 18 人、40 代が 17 人、10 代が 13 人の順になっている。

最も多かった 20 代の内訳は、女性が 51 人、男性が 35 人となっている。

(11) 平成 23～26 年度の転出内訳 (年齢 5 歳階級別)

(人口動態調査による)

H23～26 転出年齢別集計 (男女別)											
	男性					女性					総計
	H23	H24	H25	H26	計	H23	H24	H25	H26	計	
合計	42	43	39	28	152	66	46	46	50	208	360
0～4 歳	1	3	3	3	10	3	4	2	1	10	20
5～9 歳	2	1			3	5	2	2	1	10	13
10～14 歳	1		1		2	4				4	6
15～19 歳	3	4	3	3	13	8	3	4	4	19	32
20～24 歳	8	12	10	2	32	11	12	11	20	54	86
25～29 歳	5	6	5	4	20	11	11	10	5	37	57
30～34 歳	3	8	5	5	21	10	1	4	10	25	46
35～39 歳	5	4	1	4	14	3	2	4	1	10	24
40～44 歳	1	1	2	1	5	3	2	1		6	11
45～49 歳	2		1	1	4		2	2	1	5	9
50～54 歳	3		1		4	3				3	7
55～59 歳				1	1					0	1
60～64 歳	1	1	1	2	5	1	2	1	1	5	10
65～69 歳	1	1	1	1	4				2	2	6
70～74 歳	1	1			2		1	1	2	4	6
75～79 歳	2	1	3	1	7		1	1	1	3	10
80～84 歳	1		1		2	1	1	1		3	5
85～89 歳	2				2	1	2	1		4	6
90 歳以上			1		1	2		1	1	4	5

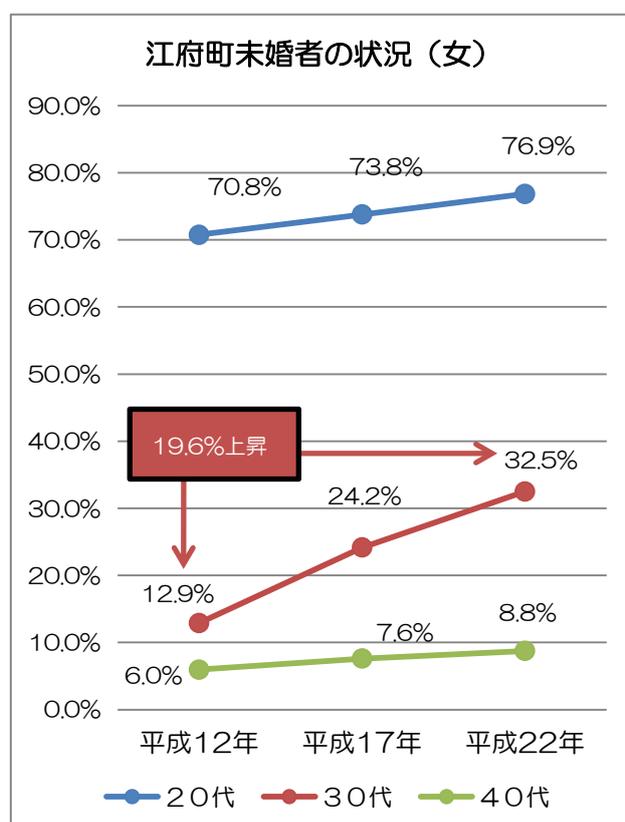
過去 4 年間の転出者の総計 360 人の内、男性が 152 人、女性が 208 人で、年代別に見ると、20 代が 143 人で最も多く、30 代が 70 人、10 代が 38 人、10 歳未満が 32 人、40 代が 21 人、10 代が 13 人の順になっている。

最も多かった 20 代の内訳は、女性が 91 人、男性が 52 人となっている。

(12) 未婚者の状況詳細

(国勢調査による)

		平成 12 年			平成 17 年			平成 22 年		
		総数	未婚者	未婚率	総数	未婚者	未婚率	総数	未婚者	未婚率
20代	男	136	118	86.8%	124	101	81.5%	118	104	88.1%
	女	130	92	70.8%	122	90	73.8%	108	83	76.9%
	計	266	210	78.9%	246	191	77.6%	226	187	82.7%
30代	男	156	53	34.0%	128	53	41.4%	124	54	43.5%
	女	155	20	12.9%	149	36	24.2%	120	39	32.5%
	計	311	73	23.5%	277	89	32.1%	244	93	38.1%
40代	男	264	47	17.8%	208	45	21.6%	157	49	31.2%
	女	252	15	6.0%	197	15	7.6%	160	14	8.8%
	計	516	62	12.0%	405	60	14.8%	317	63	19.9%



上記のグラフは、平成 12、17、22 年の国勢調査データによる江府町の 20～40 代の未婚率（死別、離別を除く）を表したものである。

未婚率は、平成 17 年の 20 代男性を除き、全て上昇している。

男性・女性別では、男性の 30・40 代と女性の 30 代の未婚率の上昇が著しい。

特に、30 代女性の平成 12 年と 22 年を比較すると、12.9%から 32.5%と 19.6% 上昇し、最も未婚率が上昇している。

このような傾向が、出生者数の減少に拍車をかけることとなっており、特段の対策が必要である。

2. 将来人口推計

(1) 総人口の見通し

平成 25 年 3 月に公表された国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という）の推計による数値を活用する。

推計条件

①基準人口：2010年10月1日現在の人口

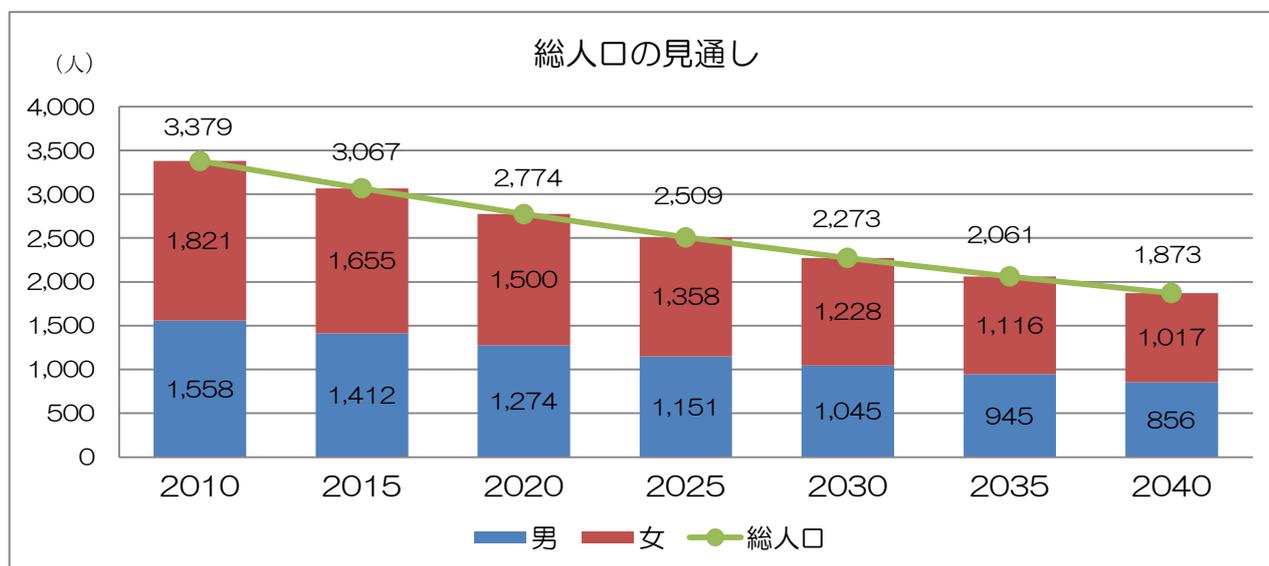
②合計特殊出生率：直近5年間の平均とし、今後も継続するものとする。

③社会移動率：過去5年間の男女年齢別純移動数（転入・転出の差）を分子とし、男女年齢別人口を分母として算出される率とする。

※「合計特殊出生率」とは、人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す。

（社人研推計による）

人口推計値							
社人研推計	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
総人口	3,379	3,067	2,774	2,509	2,273	2,061	1,873
男	1,558	1,412	1,274	1,151	1,045	945	856
女	1,821	1,655	1,500	1,358	1,228	1,116	1,017
合計特殊出生率	1.38	1.36	1.33	1.31	1.31	1.31	1.31

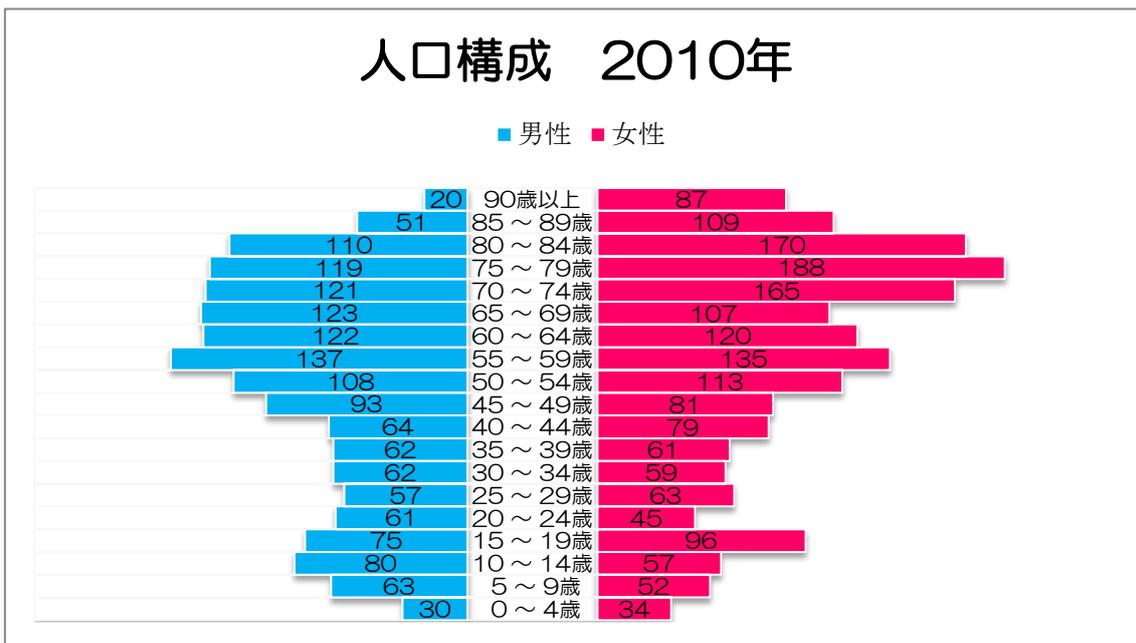


江府町の将来人口は、現状のまま人口減少が続けば、2040年代には1,873人となり、2015年に比べて約1,200人減少すると推計される。

(2) 年齢5歳階級別人口の見通し

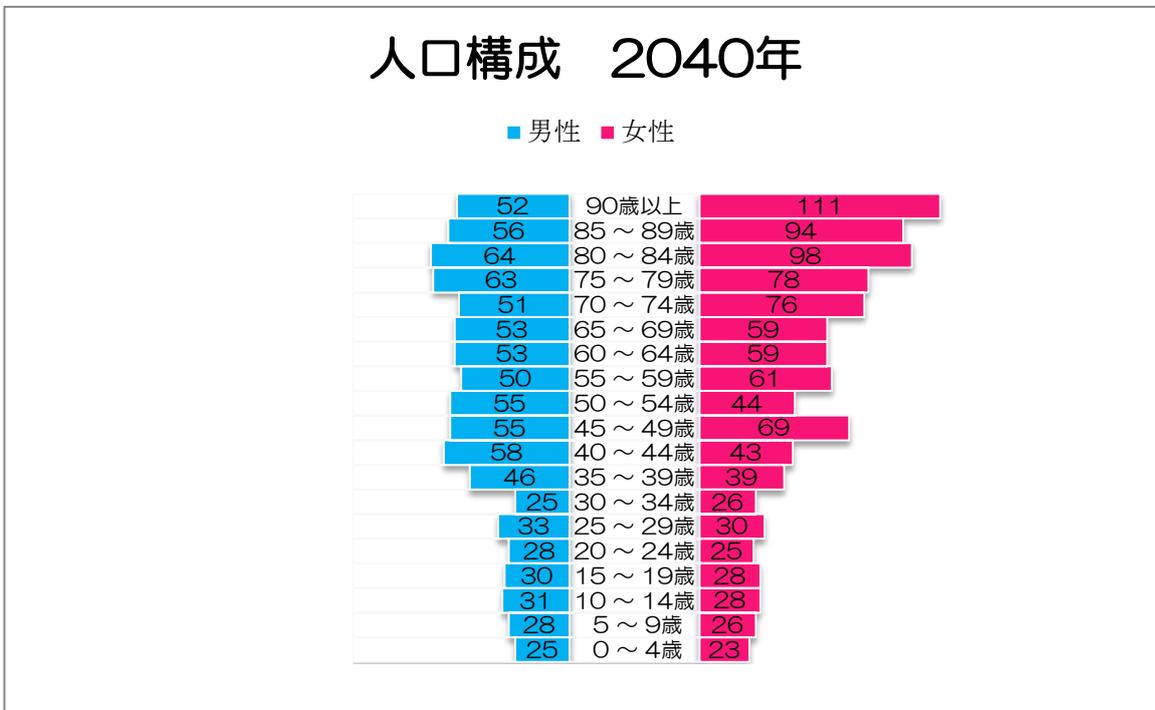
(社人研推計による)

人口推計値							
男女計	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
総数	3,379	3,067	2,774	2,509	2,273	2,061	1,873
0～4歳	64	81	68	62	58	52	48
5～9歳	115	69	84	71	63	60	54
10～14歳	137	110	67	81	68	62	59
15～19歳	171	125	103	62	75	64	58
20～24歳	106	127	104	86	52	62	53
25～29歳	120	106	128	105	87	53	63
30～34歳	121	117	104	127	102	85	51
35～39歳	123	120	115	103	125	102	85
40～44歳	143	122	119	115	102	124	101
45～49歳	174	141	120	118	114	102	124
50～54歳	221	168	137	117	115	111	99
55～59歳	272	219	166	137	118	114	111
60～64歳	242	263	212	162	134	116	112
65～69歳	230	232	253	205	157	130	112
70～74歳	286	218	222	241	197	151	127
75～79歳	307	259	198	205	223	183	141
80～84歳	280	260	222	170	180	194	162
85～89歳	160	202	192	167	129	139	150
90歳以上	107	128	160	175	174	157	163



総人口：3,379人
 老年人口（65歳以上）：1,370人（40%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）：1,693人（50%）
 年少人口（0歳～14歳）：316人（10%）

30年後（推計値）

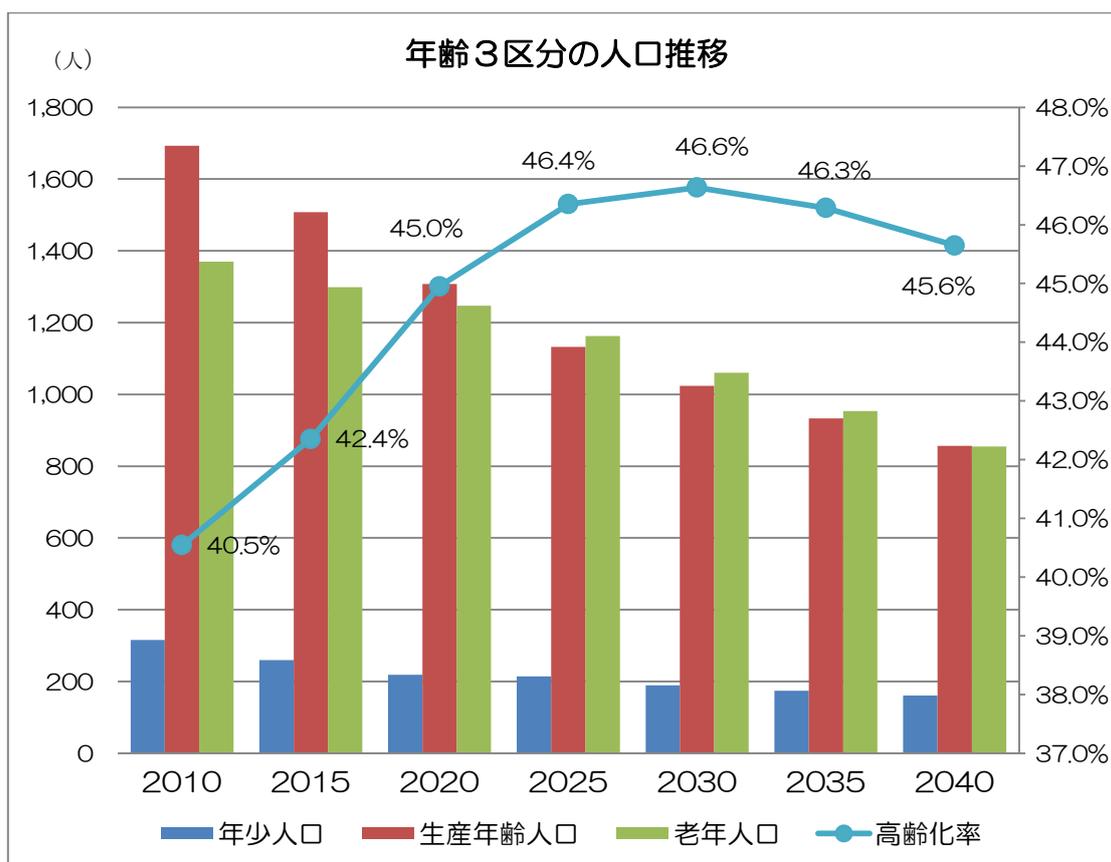


総人口：1,873人
 老年人口（65歳以上）：855人（45%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）：856人（46%）
 年少人口（0歳～14歳）：161人（9%）

(4) 年齢階層別人口の見通し

(社人研推計による)

人口推計値							
男女計	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
総人口	3,379	3,067	2,774	2,509	2,273	2,061	1,873
年少人口	316	260	219	214	189	174	161
生産年齢人口	1,693	1,508	1,308	1,132	1,024	933	857
老年人口	1,370	1,299	1,247	1,163	1,060	954	855
高齢化率	40.5%	42.4%	45.0%	46.4%	46.6%	46.3%	45.6%



上記グラフは、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）、年少人口（0～14歳）及び高齢化率の見通しを表したものである。

2040年までに総人口の減少に伴い、生産年齢人口は、836人（49.4%）の減少、老年人口は、515人（37.6%）の減少、年少人口は、155人（49.0%）減少すると推計される。

2025年以降、生産年齢人口と老年人口がほぼ同数になると予想される。高齢化率は、2030年をピークに2035年以降、老年人口の減少により若干下がるが、2020年以降は45%を超える高い数値となっている。

3. 江府町の将来人口目標

全国的に人口減少社会を迎える中、江府町の人口動向分析、将来人口推計を行った結果、2040年（平成52年）の人口は1,873人となった。

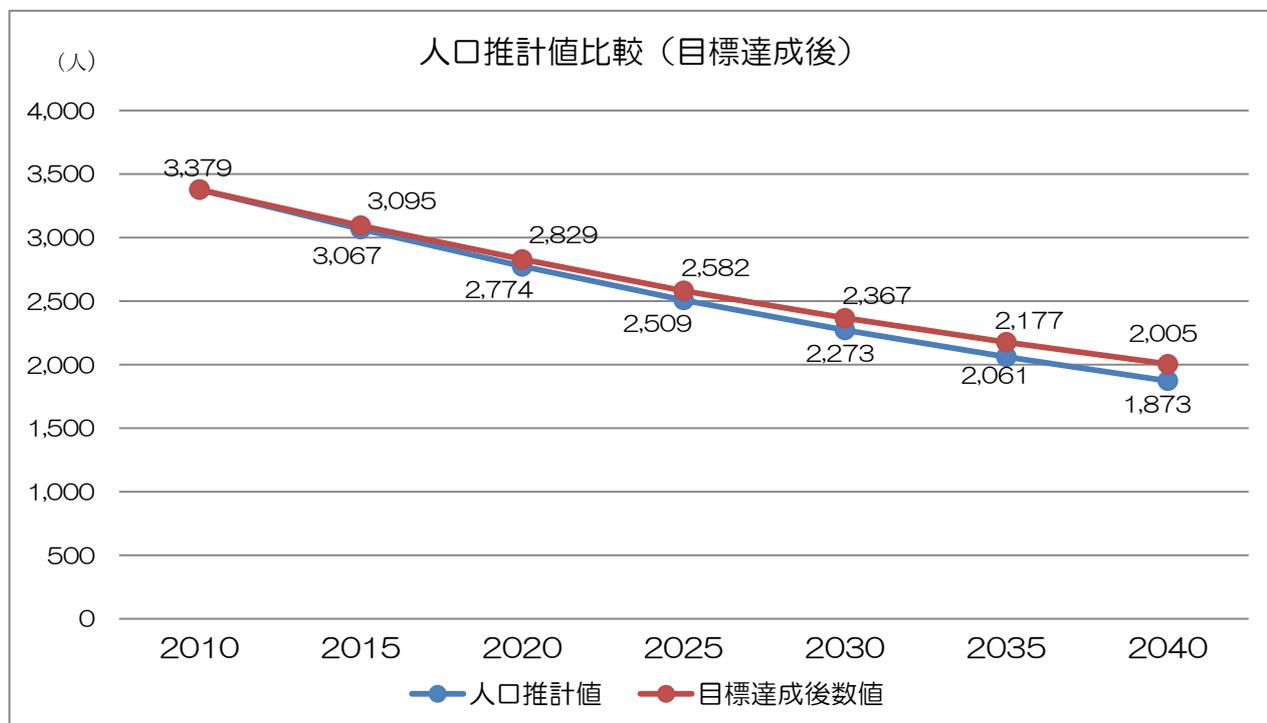
平成22年の未婚率は、30代男性が43.5%、40代男性が31.2%、30代女性が32.5%となっている。

合計特殊出生率は、人口が少ないため年度により変動が大きいですが、2015年以降（平成27年）は、鳥取県の平成21年～25年の平均実績1.56となることを目指す。

移動率については、子育て支援施策、移住・定住促進施策等、特に20～30歳代の若い女性の町外流出の抑制施策により定住化を図り、魅力あるまちづくりを進めていき、2020年以降の移動率を0.5倍に遡減し、その後一定とすることを目標とする。

この結果、2040年の人口は2,005人になると推計され、将来人口目標を2,000人とする。

- 合計特殊出生率 1.56（鳥取県でのH21～25実績平均）
- 2020年以降の移動率を0.5倍に遡減し、その後一定とする。
- 2040年の目標人口を2,000人とする。



(1) 将来人口目標が達成された場合の年齢5歳階級別人口の見通し

人口推計値							
男女計	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
総数	3,379	3,095	2,829	2,582	2,367	2,177	2,005
0～4歳	64	95	83	77	75	71	68
5～9歳	115	67	96	84	79	77	72
10～14歳	137	112	66	95	83	78	75
15～19歳	171	128	108	64	92	80	75
20～24歳	106	140	117	99	58	84	73
25～29歳	120	106	140	117	99	59	84
30～34歳	121	118	105	139	116	98	58
35～39歳	123	120	117	104	138	115	97
40～44歳	143	122	119	116	104	138	115
45～49歳	174	141	121	118	115	103	136
50～54歳	221	169	139	119	116	113	101
55～59歳	272	218	167	137	117	115	112
60～64歳	242	264	212	162	134	114	112
65～69歳	230	233	254	205	157	130	111
70～74歳	286	218	221	242	196	150	125
75～79歳	307	260	198	203	223	182	139
80～84歳	280	260	222	169	175	194	160
85～89歳	160	202	193	167	127	134	150
90歳以上	107	124	151	164	162	143	140

(2) 将来人口目標が達成された場合の年齢階層別人口の見通し

人口推計値							
男女計	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
総人口	3,379	3,095	2,829	2,582	2,367	2,177	2,005
年少人口	316	274	245	256	237	225	216
生産年齢人口	1,693	1,526	1,345	1,176	1,089	1,018	964
老年人口	1,370	1,296	1,239	1,150	1,040	934	825
高齢化率	40.5%	41.9%	43.8%	44.5%	44.0%	42.9%	41.2%

将来人口目標が達成された場合の高齢化率は、2025年の44.5%をピークに徐々に減少していくという結果となった。

(3) 将来人口目標のまとめ

将来人口目標が達成されたとしても、江府町の人口減少はやや緩やかになるものの、2010年の3,379人と比べれば2040年は2,005人となり、1,374人（約40%）の減少となる推計となった。

人口減少への対応は、次の二つの方向性が考えられる。一つは、出生者数を増加させることにより人口減少に歯止めをかけ、将来的に人口構造そのものを変えていく。もう一つは、転出の抑制、転入者の増加による政策誘導を図るものであり、この二つの対応を同時並行的・相乗的に進めていくことが重要である。

第2章 総合戦略

江府町まち・ひと・しごと創生

総合戦略策定方針

1. 総合戦略策定の意義・位置づけ

平成26年11月に、国において「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域ですみよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本を維持することに国を挙げて取り組むものとする「地方創生」の考え方がしめされました。

こうした国の総合戦略の基本的な考え方や政策を踏まえ、本町における人口減少と地域経済の縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、基本的目標や具体的施策を「江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定します。

2. 基本的な考え方

○現状と課題

本町においては、国勢調査によると平成22年度の人口は、3,379人であり、平成17年からの5年間で263人減少となっています。今後も人口減少とともに少子高齢化の一層の進行、世帯数の減少や世帯規模の縮小も進むことが見込まれます。

人口減少により地域の活力低下や、要介護者や高齢者単独世帯等の支援を必要とする家庭が増加しています。また、労働力人口が減少することによりサービスの持続的な供給主体の確保が困難となり、これらを支えていく町の財政状況の悪化など、多方面にわたる課題が考えられます。

快適で安全・安心な住環境の整備や保健・医療・福祉の充実をはじめ、子育て環境や教育環境の充実、自然の保護や環境の保全なども重要な課題です。

今後、集落など地域コミュニティの確保・再生や、観光・交流等の活性化による交流人口の確保、NPO活動やボランティア活動などの地域活動の促進など、多様な視点から地域の活性化に取り組むことが求められます。

○戦略の方向性

「奥大山の恵みを活かし ひとが集うまち」の実現に向けて

本町は、日本4名山のひとつ大山の南山麓に位置し、西日本一のブナ林で育まれた天然水の大きな恩恵を受け発展してきました。大手飲料メーカー等によってミネラルウォーターの生産が行われ、豊かな水は、田畑を潤し、農作物の栽培に利用されてきました。現在では、開設された道の駅を中心に農産品の6次産業化の取り組みが始まっているところです。

江府町周辺は、「奥大山」と呼ばれ、豊かな自然に恵まれ四季折々の景観が楽しめ、特に鍵掛峠や鬼女台などには年間を通じ多くの観光客が訪れます。

文化面においては、古くから伝わる行事・伝統芸能として、江尾十七夜・荒神神楽などがあり、地域に対する誇りとまちの魅力を高める要素となっています。

地方創生の取り組みについては、こうした地域資源・人的資源の活用が非常に重要となります。人口減少により引き続き厳しい状況が続くことが予想される中、町民の力を結集し、受け継がれてきた奥大山の恵みを活かし、人々が集う豊かで自立した江府町をつくりあげていく必要があります。

3. 政策目標

○目標人口

これまでの動向や人口の増加や減少抑制のための様々な取り組みを推進することによる効果を織り込み、2040年における目標人口を2,000人とします。また、小学校児童数90人、中学校生徒数45人を目標とします。

○基本目標

第1 住宅整備などにより移住・定住の促進やにぎわいの創出によりひとの流れを誘導する「住んでみたいまち、帰りたくなるまちづくり」。

第2 出会いから結婚、そして、子育てまで安心して産み育てることができる切れ目のない支援、また、高齢になっても自立して健康に生活できるよう生涯にわたり「だれもがいきいき暮せるまちづくり」。

第3 地域の特性を生かした新たな事業展開を促し、雇用の促進を図るなど「産業振興により活力と雇用を生みだすまちづくり」。

以上の三つを基本的な柱としてそれぞれの分野において具体的施策をとりまとめています。これらの基本目標の実現に向けては、恵まれた自然・環境・文化・歴史を活かしながら、町民総ぐるみでまちづくりを進めます。

4. 計画期間と将来計画との整合性 -----

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画の対象となる期間は、平成27年～平成31年度の5年間です。

現在の第4次江府町総合計画（期間 平成18年度～平成27年度）は、最終年を迎えており、新たな計画策定の時期となっています。計画策定にあたっては、総合戦略との調整を図り、整合性の保たれた計画といたします。

5. 基本目標の設定と施策の推進・検証 -----

総合戦略は、平成31年度の実現すべき成果に関する数値目標を設定するとともに、政策分野を構成する各施策については、効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標 K P I）を設定します。

その達成状況の確認・検証は、「江府町まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議」により毎年実施いたします。評価・検証内容については、P D C A（計画・実行・評価・改善）サイクルを確立しそれぞれの施策を適切に推進いたします。

6. 戦略のフォローアップ -----

今後、総合戦略の見直しについては、有識者会議の評価・検証を受け、必要に応じ町民みなさまの意見を伺いながら実施いたします。

また、国から提供される「地域経済分析システム」や国勢調査などのデータを参考に改訂の必要が生じた場合など随時見直を実施いたします。

基本目標 I 住んでみたいまち、帰りたくなるまちづくり

指標	目標数値
・転入数	53人(平成26年度) → 60人(平成31年度)
・転出数	78人(平成26年度) → 70人(平成31年度)

※平成26年度に比べ、転入数2世帯(7人)増、転出数3世帯(8人)減を目標とする。

基本的方向

1 住まいの整備

若者、子育て世代、高齢者、UIターンなど様々な要望に応える、良質で利用や取得しやすい住宅等を供給し移住定住を促進する。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標(KPI)	基準数値	H31目標数値
(1) 空き家対策の推進 ■ 空き家を活用し移住者増加と集落の維持を図る。	■ 空き家調査事業(拡充) → 空家の状況及び所有者の意向等調査 ■ 空き家提供支援事業(拡充) → 空き家を提供できる状態にするための支援 ■ 空き家活用支援事業(拡充) → 移住者等が入居に向けた空家改修整備等の支援	■ 空き家情報バンクの登録件数(累計)	3件 (H26)	24件
(2) 住宅整備 ■ 住宅建設が可能な分譲地の確保。 ■ 入居者の希望に沿った住宅の確保。 ■ 官民連携型(PFI等)手法等を導入し事業の効率化と財政負担等の削減を図る。 ■ 独居生活等に不安な高齢者向け集合住宅の確保する。	■ 住宅建設用分譲地整備・取得支援事業(新) ■ お試し住宅整備事業(新) → バリエーション豊かなお試し住宅の整備 ■ 賃貸住宅の整備・入居支援事業(拡充) → バリエーション豊かな賃貸住宅の整備と入居支援 ■ 高齢者向賃貸住宅の整備・入居支援事業(新)	■ 新たに整備した住宅等への世帯の転入(累計)	—	15世帯
(3) 移住・住宅に関する総合相談窓口の開設 ■ 移住・住宅相談窓口を設置し若者等の移住定住を促進する。 ■ 広域的な連携による移住定住情報の広報活動を推進する。	■ 移住及び住宅相談窓口設置事業(新) → 住宅、空き家、宅地情報の収集および支援制度など移住相談に対応する窓口の開設 ■ 広域移住定住推進連携事業(新) → 鳥取県西部地区など広域連携による移住定住PR・セミナーなど開催し移住を推進	■ 住宅及び用地関係相談件数(年間)	—	120件

2 にぎわいの創出

ひとが集まるにぎわいを創出しまちの魅力を高め、住民同士の交流を深めるとともにそこからひとが訪れるまちづくりを促進する。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)ひとが集う仕掛けづくり</p> <p>■ひとが集まる仕掛け(イベント等)により、町外からの人の流れをつくり地域の交流、域内消費の拡大を図る。 また、空き家、廃校舎など活用しひとが集まりやすい環境整備し地域コミュニティの活性化を図る。</p>	<p>■まちのにぎわいづくり支援事業(新) →住民による地域活性化に向けたひとを呼び込むイベント・活動の支援 →空き屋、廃校舎などを活用し拠点整備を行い、ひとが集まりやすい環境の創出</p>	<p>■主要イベント開催数(年間)</p>	<p>8回 (H26)</p>	<p>12回</p>

3 効果的な情報発信

情報通信技術等を活用し、町内外へ町の魅力の発信を進めるとともに、住民サービスの向上を図る。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)人的ネットワーク等による情報発信</p> <p>■町出身者やマスコミなどの協力による人的ネットワークを活用し、江府町に関する全般的な情報のほか具体的な施策情報等も積極的にPRする。</p>	<p>■江府町応援団育成事業(拡充) →全国の町出身者の交流会・ふるさと大使等町支援者を募り、まちのPR等に協力いただくひとが集う統一的な組織の設立</p>	<p>■江府町応援団人数(累計)</p>	<p>12人 (H26)</p>	<p>60人</p>
<p>(2)まちに関する情報の一元化</p> <p>■まちの情報が一元的にあつまるシステムを構築し、住民生活の利便性向上や地域活動のPR等を町内外に積極的に発信する。</p>	<p>■まちの情報発信活性化事業(拡充) ①ホームページ、ツイッター等の改修充実及び利用促進 ②光ネットワークサービス加入の促進 ③まち全般にわたるPR映像の作成配信</p>	<p>■閲覧回数(日)</p>	<p>約400件 (H26)</p>	<p>600件</p>
<p>(3)住民にわかりやすい情報の提供</p> <p>■映像、音声による行政情報を提供するとともに、光ネットワークを活用し住民、福祉サービスの向上を図る。</p>	<p>■テレビによる映像配信事業(新) →光ケーブルを利用し、町内全世帯のテレビ画面に映像・音声により行政情報など配信する。また住民サービスの向上に活用</p>	<p>■映像配信の実施</p>	<p>—</p>	<p>平成31年までに映像配信の実施</p>
<p>(4)情報受信環境の整備</p> <p>■観光客、住民が利用できる公共の無線LANスポットを設置し、高速データ送受信可能な情報受信環境を整備する。</p>	<p>■公衆無線LAN設置推進事業(新) →町内の主要な公共施設に公衆無線LANを整備</p>	<p>■wi-fi設置場所数(累計)</p>	<p>—</p>	<p>5箇所</p>

基本目標Ⅱ すこやかでいきいき暮らせるまちづくり

指標	目標数値
・合計特殊出生率	1.35(H26) → 1.56(H31)
・介護保険認定率	22.0(H26) → 20.0以下(H31)

基本的方向

1 出会い・結婚を支援

若者が少なく出会いの場が限られた地域において、「出会い」を求める若年層の交流を促進し、未婚化・晩婚化の改善を図り、地域の定住促進につなげる。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標 数値
<p>(1)若者の出会い・交流支援</p> <p>■若い人が集まり、自主的に行う社会・文化・スポーツ活動などを支援し、自然な出会いと併せて地域に対する理解を深める機会を創出する。</p> <p>■結婚を望む独身者が出会いの場で自己表現ができ幅広い交流ができるようスキル習得を支援する。</p>	<p>■出会い結婚応援事業(新) →若い世代のグループ活動や様々な婚活の取り組みを支援</p> <p>■婚活セミナー開催事業(拡充) →男女のスムーズなコミュニケーション力向上を図る講座の開催</p>	<p>■若者で構成された活動グループ数 (累計)</p> <p>■セミナー参加者 (参考:30~40代未婚者156人)</p>	<p>1グループ (H26)</p> <p>13人 (H26)</p>	<p>3グループ</p> <p>50人</p>
<p>(2)結婚転入支援</p> <p>■結婚を機に町内への移住の推進を図る。</p>	<p>■結婚定住支援事業(新) →結婚を機に町外からの転入した場合、助成金の支給</p>	<p>■婚姻を機に転入数 (年間)</p>	<p>7人 (H26)</p>	<p>10人</p>

2 切れ目のない子育て支援

子どもを産むまでの支援、また、産後の健やかな成長に向けた専門的な支援を充実する。子育ての負担や不安の軽減を図り、出産、子育てに希望がもてる家庭を増やす。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標 数値
<p>(1) 子育て世代の経済的支援の充実</p> <p>■ 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、出産から学業終了まで手厚く切れ目のない支援を行う。</p>	<p>■ 子育て負担軽減事業</p> <p>① 妊婦健診の通院費助成(新) ② 妊婦健診費助成(拡充) ③ 出生一時金等の助成(拡充) ④ 保育料軽減(拡充) ⑤ 学校給食費支援(新) ⑥ 小・中学校入学準備支援(新) ⑦ 小学校から18歳まで医療費助成(拡充) ⑧ 高校生の遠距離通学費助成(新) ⑨ 大学等就学支援(独自の奨学金制度)(拡充)</p>	<p>■ 子どもの人数 (0歳～18歳)</p>	<p>327人 (H27.4.1)</p>	<p>330人以上</p>
<p>(2) 子育てサポート体制の充実</p> <p>■ 子育て支援の拠点を整備・充実するとともに地域で子育てを行う仕組みを作り、子育てに関する不安・負担の軽減を図る。</p>	<p>■ 子育てサポート体制整備事業</p> <p>① ファミリーサポートセンター開設(新) ② 子育て支援センター機能強化(拡充) ③ 保育園の受入時間の延長等体制の充実(拡充) ④ 病後児保育体制の整備(新) ⑤ 男女が共に育児に取り組むための啓発活動等(新) ⑥ 子どもに関する保・小・中・関係機関の連携の強化(拡充) ⑦ 妊婦の健康管理や育児相談に対する支援の充実(拡充)</p>	<p>■ 子育て環境満足度調査指数 (ほぼ満足・満足の割合)</p>	<p>46.9% (H26)</p>	<p>60.0%</p>

3 次世代を担う人材育成

豊かな自然に恵まれた環境の中、子どもたちの知・徳・体の成長を支援する教育の充実を図る。また、落ち着いて学べる良好な環境整備ときめ細やかな教育による確かな学力の向上を図る。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)地域と連携した学校教育の推進</p> <p>■子育て支援団体を育成し、学校・家庭・地域の連携を強化する。子どもが地域活動に参加し、役割を担うなど、地域の力を学校に取り入れ開かれた学校教育環境をつくる。</p> <p>また、自然環境を活かした体験学習や、地域の熟年者と触れ合いを通じて地域の歴史、文化、仕事、暮らしを学ぶことで地域に愛情を持つことができる「ひと」を育てる。</p>	<p>■地域の子育て支援事業 (拡充) →学校を開かれた住民とのコミュニティの場として活用するとともに、様々な行事等をこども・住民と協働で取り組み交流を図る。また子どもたちが、地域や社会を感じ理解できるよう職場体験・ボランティア活動等地域との交流を積極的に推進する。</p>	<p>■学校において地域住民と児童生徒の交流事業数(年間) (小学校・中学校)</p>	74回	90回
<p>(2)ひとりひとりの確かな学力向上</p> <p>■子供達の学力向上のための学習環境を整備する。</p> <p>■特に支援の必要な児童生徒に、きめ細かな個別指導を実施する。</p> <p>■地域(郡内)の唯一の高校の魅力向上を促進し、入学する生徒数の増加を図る。</p>	<p>■学力向上支援事業 ①ALT(外国語指導助手)を小中学校に配置(小学 新) ②公営学習塾の開設(新) ③少人数学級(中学校)の推進 ④学習支援員(小学校)の配置 ⑤スクールソーシャルワーカーの配置 ⑥ICT(タブレット端末・電子黒板等)の整備(新)</p> <p>■日野高校魅力向上連携事業 →地域に関連した交流授業の開講等</p>	<p>■自身の学習状況に肯定的な自己評価をする児童の割合</p>	70% (H26)	85%
<p>(3)個性豊かな人間力向上</p> <p>■個性や能力・興味に合わせたスポーツ、文化、芸術、仕事など一流のものに触れることで将来に向けての希望や人間力の向上を目指す。</p>	<p>■一流の技(わざ)体感事業(新) →子供たちが優れた一流の技に触れ、体験する機会を創出</p>	<p>■将来の目標に対する意識変化のあった子どもの割合</p>	—	50%

4 安心の保健医療体制づくり

健康長寿・生涯現役を目指した健康意識の高揚、介護予防活動、がん・生活習慣病など早期発見、早期治療の推進と、食生活改善・運動などを通じて予防に取り組む。保健・医療従事者の確保と地域医療・在宅医療の更なる充実を図る。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)きめ細やかに健康管理を支援</p> <p>■保健・医療・福祉の連携を強化し、発症予防から機能回復までを総合的に支援する。 生涯健康に過ごすため、成人期から積極的な健康増進対策を推進する。</p>	<p>■健康寿命延伸事業(拡充)</p> <p>①検診受診率向上 ②保健・医療・福祉の連携強化 ③生活習慣病予防、高血圧・心臓病専門外来、認知症専門外来等設置</p>	<p>■健康増進法に定める全てのがん検診の受診率</p>	<p>36.4% (H25)</p>	<p>40.0%</p>
<p>(2)医療体制の充実</p> <p>■江尾診療所を中心に、住民の健康増進に向け町内福祉施設、日野病院・鳥取大学医学部等との密接な連携と情報の共有化を図る。 また、患者数、患者のニーズに合った医療スタッフを確保するとともに経営的に安定した運営を行う。</p>	<p>■江尾診療所安心の医療体制整備事業(拡充) →鳥取大学医学部等との地域医療に関する連携事業の推進と医療従事者の確保及び経営計画の策定</p>	<p>■人口、患者数、患者のニーズに合った医療スタッフの確保等及び安定経営による円滑な運営</p>	<p>— 医科 医師 1名体制</p>	<p>経営戦略計画策定 医科 医師 2名体制</p>

5 高齢者の暮らしを支える

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、地域活動をはじめ、いきいきと社会参加できる環境を整備する。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)高齢者の社会参加と生活支援</p> <p>■高齢者の生活機能の向上や介護予防、認知症対策のため、家族や地域のサポート体制の確立と地域の中に生きがいをもって生活できるような居場所をつくる。</p> <p>■在宅で自立した生活が長くできるよう社会資源の活用と福祉サービスの向上を図る。</p>	<p>■在宅高齢者支援事業(拡充)</p> <p>①安心ホットライン、見守り訪問等による見守り支援体制の構築 ②社会参加を促すグループ活動等の開催による高齢者閉じこもり予防支援 ③買い物、移動、ごみ出し、雪かき支援等による在宅生活支援</p> <p>■高齢者共同生活施設整備事業(新) →高齢者の冬期間等の共同生活を支援</p>	<p>■施設入所率(65歳以上高齢者のうち)</p>	<p>7.3% (H26)</p>	<p>7.0%以下</p>

基本目標Ⅲ 産業振興により活力と雇用生みだすまちづくり

指標	目標数値
・町内事業所新規雇用者数	94人(H26) → 100人(H31)
・町内事業所従業者数	479人(H26) → 500人(H31)
・町内総生産	19,808百万円(H24) → 20,000百万円(H31)

基本的方向

1 新たな事業の創生

道の駅や地域資源を活用し、魅力ある特産品の開発などにより新たな地域産業の基礎をつくる。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標 数値
<p>(1)ふるさと産品づくり</p> <p>■道の駅を核とし、6次産業化の推進、特産品の開発・販売により地域の活性化につなげるとともに、産品づくりに関するアイデア、提案を実践出来るコーディネート機能の強化を図る。</p> <p>■奥大山」あるいは「水のまち」の自然で清らかなブランドイメージの確立・活用する。</p>	<p>■特産品振興事業(新)</p> <p>①特産品開発支援 →地元名産品、加工品等の開発支援</p> <p>②特産品販路開拓支援 →地元特産品を町内外の商店等へPR、販売促進支援</p> <p>③特産品等加工販売設備導入支援 →特産品等加工販売にかかる設備導入の支援</p> <p>■江府町ブランド推進協議会の組織化支援事業(新)</p>	<p>■鳥取県ふるさと認証商品数(累計)</p>	<p>21品目(H26)</p>	<p>30品目</p>
<p>(2)起業支援</p> <p>■町民の出資などによる新たな起業を促進し、観光等の産業振興・雇用拡大を図る。</p>	<p>■起業等支援事業(拡充) →起業、異業種参入などによる新たな事業への取り組みの推進、設備投資などを支援</p>	<p>■起業者(社)数(累計)</p>	<p>4者(社)(H26)</p>	<p>15者(社)</p>

2 農業の振興

地域の農業を守り、農業で自立できる仕組みをつくる。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)担い手農業者等の育成</p> <p>■規模拡大農家(認定農業者)等の育成と組織化を図る。 ■農地の受け手(担い手)が栽培に取り組みやすい支援施策の充実。</p> <p>■循環型農業(農畜連携)の推進(新)</p> <p>■農業公社を農作業及び農地維持、農業普及活動の中心となるよう支援。</p>	<p>■認定農業者支援事業(拡充) →認定農業者の規模拡大、作業効率化などを支援</p> <p>■集落営農推進事業(新) →地域の実情に応じた農作業等効率化共同化の取組みを支援</p> <p>■畜産農家作業軽減事業(新) →畜産経営効率化や農家共同の取組み、飼料、堆肥活用の推進の支援</p> <p>■農業公社等支援事業(拡充) →農業公社等の作業受託、農地維持にかかる取組み等に対する支援</p>	<p>■担い手農家の育成(累計)</p> <p>■集落営農組織の組織数(累計)</p> <p>■新規就農者(累計)</p>	<p>16人 (H26)</p> <p>5組織 (H26)</p> <p>—</p>	<p>25人</p> <p>10組織</p> <p>10人</p>
<p>(2)儲かる米づくりの推進</p> <p>■付加価値の高い優良米の生産拡大を図る。</p>	<p>■特別栽培米振興事業(新) →高品質米「奥大山プレミアム特別栽培米」の普及支援</p>	<p>■奥大山プレミアム特別栽培米面積(年間)</p> <p>■奥大山プレミアム特別栽培米販売額(年間)</p>	<p>2ha (H26)</p> <p>110万円</p>	<p>50ha</p> <p>9,000万円</p>
<p>(3)高収益作物の振興</p> <p>■優良品種作物の導入や、独自の栽培方法等により高付加価値農産物の推進を図る。</p>	<p>■高収益作物振興事業(新) →果樹(梨・新甘泉、柿・輝太郎)、トマト、水耕栽培、漢方薬の原料栽培等の支援 モデルほ場の設置、技術指導体制の確立、生産物認定制度(環境王国・奥大山ブランド等)の確立など</p>	<p>■新たな農産物生産取組農業者(累計)</p>	<p>—</p>	<p>10人</p>

3 観光の振興

町内を訪れる観光客の増加を図り、観光消費の増大により様々な分野の産業振興につなげる。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)まちなみめぐりの推進</p> <p>■町内あるいは広域的な観光ルート、地域資源を利用した観光商品の掘り起こしを行い、町内を訪れる観光客の増加を図る。</p> <p>■集客イベントの開催や空き家などに活用し人が集まりやすい環境整備し域内消費の拡大を図る。</p>	<p>■観光振興事業(拡充)</p> <p>①観光ツアーガイドの養成</p> <p>②道の駅を起点とした観光ルートの策定と案内看板設置</p> <p>③飲食店、宿泊施設の充実・確保及びPR</p> <p>④観光用プレミアム商品券の発行</p> <p>⑤体験型農業の推進</p> <p>⑥町内歴史小説をモチーフにした観光PR</p> <p>■街の商店振興事業(新)</p> <p>→商店が集まる地域での集客イベント、買い物、街歩き等の促進支援や駐車場整備</p>	<p>■町内入込客数(年間)</p> <p>■地域内主要商店販売額</p>	<p>13.7万人(H26)</p> <p>—</p>	<p>30.0万人</p> <p>平成26年比5%増</p>

4 就労支援の推進

求人・求職者のマッチングの推進と働く意欲のあるひとの就労を支援する。

施策の概要・目的	具体的施策	重要業績指標 (KPI)	基準数値	H31目標数値
<p>(1)地域人材育成</p> <p>■人材が不足する分野への資格取得を支援し、町の発展、住民福祉の向上に必要な人材確保と定住を促進する。</p>	<p>■資格取得支援事業(新)</p> <p>→町内在住者、勤務者を対象に雇用につながる資格取得を支援</p>	<p>■資格取得後就労者数(累計)</p>	<p>—</p>	<p>10人</p>
<p>(2)雇用の促進</p> <p>■長期短期を問わず人材を必要とする事業主と就労希望者をつなぎ、雇いを促進する。</p> <p>■農業経営環境の悪化により不足する農業者を確保する。</p> <p>■農福連携により心身に障がいのある方の機能の回復と就労支援を促進する。</p> <p>■町内だけでなく、広域的な連携により企業進出等を促進し、雇用の機会の拡大を図る。</p>	<p>■人材登録紹介センター設置事業(新)</p> <p>→町内の仕事の斡旋、仲介を支援</p> <p>■農業人材確保事業(新)</p> <p>→地域農業の振興、農地維持に取り組む大規模農業者、事業所の新たに従業員の雇用を支援</p> <p>■農福連携推進事業(新)</p> <p>→障害のある方が農業を通じて自立及び社会参加等が可能となるよう支援</p> <p>■広域的企業立地促進事業(拡充)</p> <p>→県西部地区へ事業進出また事業拡大により、新たに町内在住者を雇用する場合支援</p>	<p>■新規就労者数(年間)</p>	<p>—</p>	<p>10人</p>